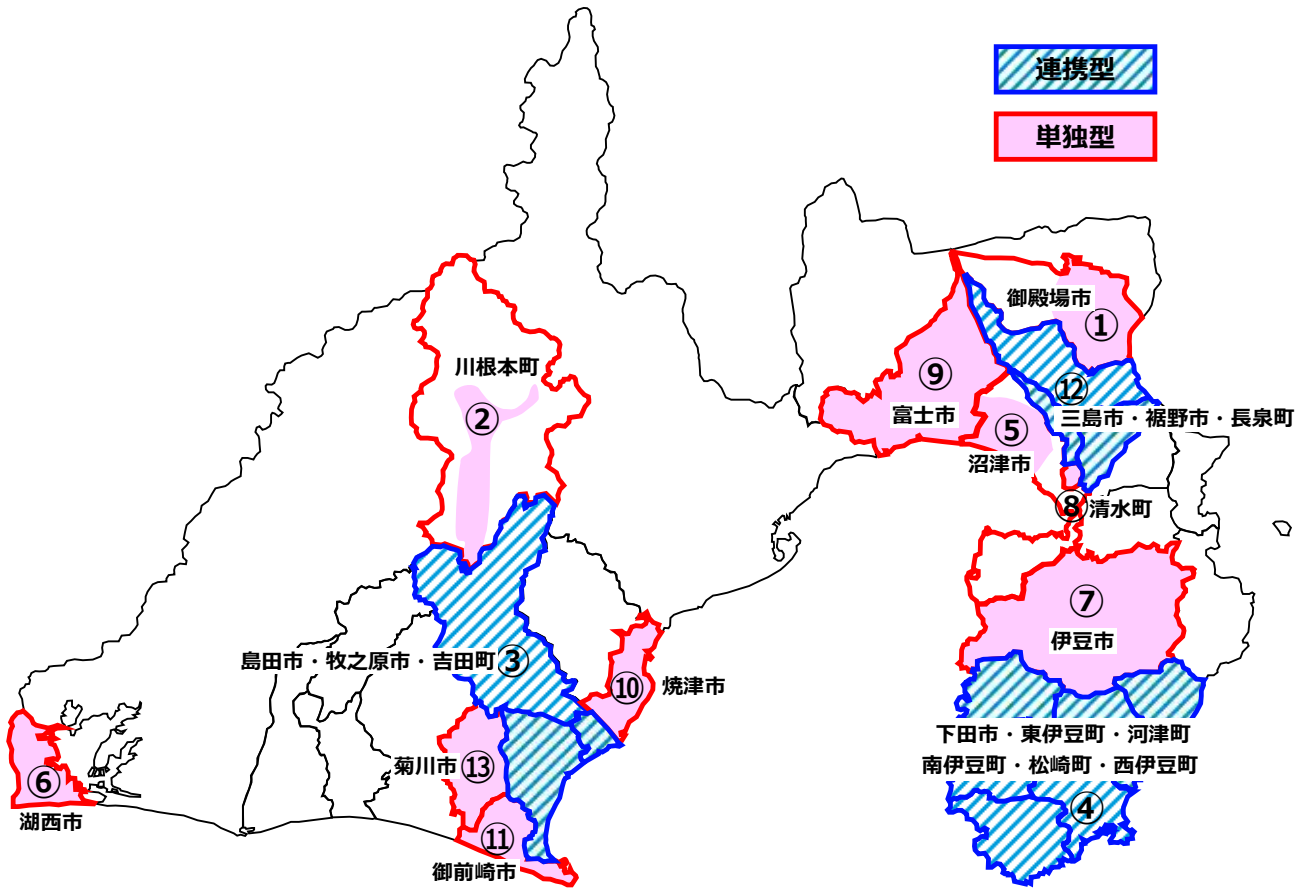


○ ふじのくにフロンティア推進エリア一覧



認定年度	No.	ふじのくにフロンティア推進エリア名
R1	①	御殿場“エコガーデンシティ”産業立地促進エリア
	②	I C T・I o Tによる新産業創出推進エリア
R2	③	富士山静岡空港周辺観光・産業交流推進エリア
	④	世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆'sライフスタイル』創造エリア
	⑤	先端科学技術を活用した農業イノベーション創出エリア
	⑥	湖西市版MaaS（企業シャトルBaaS）によるデジタルシティ推進エリア
	⑦	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、交流・関係・定住人口創出推進エリア
	⑧	笑顔があふれ誰もが健康に暮らせる『笑街健幸のまち』推進エリア
R3	⑨	企業の競争力と暮らしの質を高め、新たな価値を創造するテレワーク先進都市エリア
	⑩	「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「新たな働き方・楽しみ方」の掛け合わせにより、多彩な人々が寄り集う「港まちやいづ」創造エリア
	⑪	脱炭素社会と経済の活性化を実現する、御前崎型の次世代農業・賑わい創出エリア
R4	⑫	首都圏の子育て世帯から選ばれる「転職なき移住」推進エリア
	⑬	「多文化都市」菊川型の関係人口創出・定住人口拡大エリア

<p>目指す姿</p>	<p>持続可能なエネルギー利用と低炭素社会を実現しながら、地域経済の好循環を目指す“エコガーデンシティ”構想実現のための先導的モデルエリア</p>	
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低炭素化技術の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各拠点における再生可能エネルギー創出、活用技術の導入 ・ 企業間を循環走行する燃料電池バスの導入 ○ エリア内のエネルギー循環の最適化 ○ エリア全体の景観保全(阻害抑制、緑化推進等) ○ 環境関連産業等の集積を図る工業団地開発 ○ 拠点間のビジネスマッチング、人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ エリアの経済の中心となる経済活性化施設整備 ○ 拠点を結ぶ団地間連絡道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT物流、自動運転実証によるエリア全体の移動・輸送の最適化 	
<p>新拠点区域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏川南部工業団地／板妻南工業団地(第3期)／板妻南工業団地(第4期) ・ 経済活性化施設 	
<p>県支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産業立地事業費助成 	
<p>主な進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 夏川南部工業団地は、令和3年1月に全2区画を造成完了。1区画は、進出企業が令和4年8月に操業開始。 ✓ 板妻南工業団地(第3期)は、令和5年2月に全2区画の造成が完了見込み。両区画とも、県外企業の進出が決定しており、2社合計で70人の雇用創出見込み。 ✓ 水素ステーションの操業開始を契機とした市公用車への水素自動車導入のほか、ごみ焼却発電による電力の公共施設での利用、スマートファシリティの市庁舎への導入など、低炭素化技術・エネルギー循環の拡大に向けたモデルケースの確立を図っている。 	<p>エリアの概要</p>

主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
工業団地の整備 (夏川南部／板妻南第3期／板妻南第4期)	当初計画	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■						
	実施・見込み	■■■■■							
経済活性化施設の整備	当初計画	基本構想 ■ ■ ■ ■ ■	設計 ■ ■ ■ ■ ■	用地取得 ■ ■ ■ ■ ■	造成工事 ■ ■ ■ ■ ■		施設整備 ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	
	実施・見込み	基本構想				設計	用地取得	造成工事	

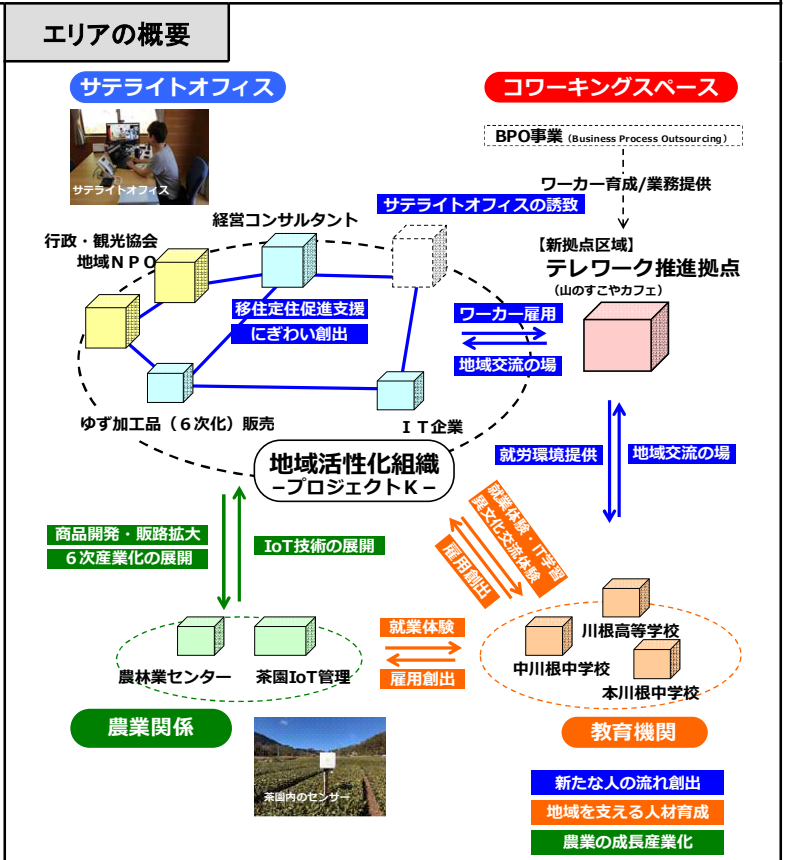
2【川根本町】ICT・IoTによる新産業創出推進エリア

R元年度認定

目指す姿	ICTインフラやIoTを活用した新たな産業やにぎわいを創出し、町民が個性豊かに「学び」「働き」「暮らす」ことができる魅力あるエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○エリアへの新たな人の流れ(新たな就労環境)の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク推進拠点(山のすこやカフェ)の整備 ・ 空き家を利用したサテライトオフィスの誘致 ・ BPO事業により育成されたワーカーの町内企業での新規雇用 ○企業と教育機関の連携による地域を支える人材の育成 ○農業の成長産業化(農業IoT・6次産業化)に係る技術提携
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク推進拠点(山のすこやカフェ)
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域 ・ 各教育機関(川根高等学校・本川根中学校・中川根中学校) ・ 川根本町農林業センター
県支援事業	—

主な進捗

- ✓ 令和3年4月にオープンしたテレワーク推進拠点(山のすこやカフェ)は、テレワークスペースとしての機能を備えたカフェとして、テレワークの場となるとともに、観光・交流の場となり、年間5,000人超の利用が見込まれている。
- ✓ 地域活性化組織「プロジェクトK」が中心となりサテライトオフィス誘致に取り組み、複数の企業が進出を検討中。
- ✓ サテライトオフィス進出企業の株式会社Agrinosが、栽培したゆずを活用したマーマレードなどの製品化に向けた取組を進めている。令和4年4月には、「第4回ダルメイン世界マーマレードアワード＆フェスティバル日本大会」において、「金賞」を受賞。



主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
テレワーク推進拠点(やまのすこやカフェ)の整備・運営	当初計画	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■
	実施・見込み	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■						
誘致企業へ就労できる仕組みづくり(ITエンジニア研修・大学と連携したインターンシップ)	当初計画	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■
	実施・見込み	■ ■ ■ ■ ■							

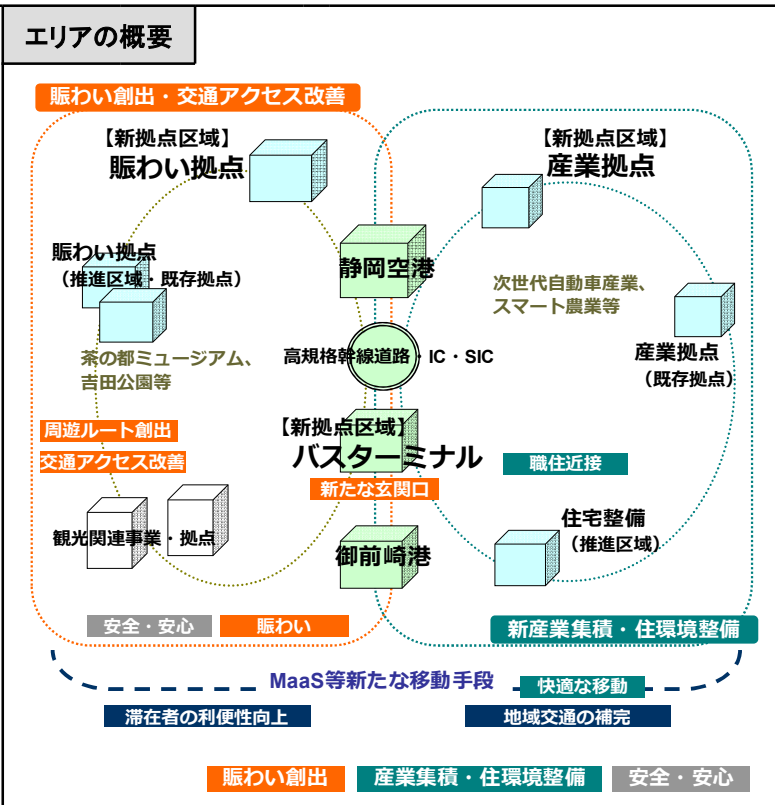
3 【空港周辺】富士山静岡空港周辺観光・産業交流推進エリア (島田市・牧之原市・吉田町)

R2年度認定

目指す姿	富士山静岡空港や高規格幹線道路、新たなモビリティ等の交通ネットワークの活用と、拠点間の相互連携により、新たな人・モノの流れを生み出す観光・産業交流推進エリア
取組内容	<p>○ 空港を中心とした新たな賑わい拠点の創出および既存資源との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MaaS等の新たなモビリティを活用し、既存の観光・商業施設や、新たな賑わい拠点などを結ぶ交通アクセスを改善するとともに、周遊ルートの創出による更なる観光交流を生み出しながら、エリア全体の消費拡大、地域経済を活性化 <p>○ 陸・海・空のネットワークを活用した新産業の集積と新たな住環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代自動車研究開発等の産業を誘致する拠点を整備し、雇用の受け皿を確保
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場跡地利活用促進拠点 ・ 旧金谷中学校跡地活用推進拠点 ・ 萩間地区工業用地開発推進拠点 ・ シーガーデン推進拠点 ・ (仮称)東名吉田IC周辺バスターミナル推進拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新東名島田金谷IC周辺都市的土地利用推進区域 ・ 東名相良牧之原IC周辺土地利用推進区域 ・ 物資供給拠点確保事業推進区域 ・ 企業活動維持支援事業推進区域 等
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金 ・ 工業用地安定供給促進事業費助成

主な進捗

- ✓ 旧金谷中学校跡地活用推進拠点は、民間活力導入による交流・賑わい拠点の整備に向け、令和4年度に事業者が決定見込み。令和5年度からの整備着手を予定。
- ✓ 萩間地区工業用地開発推進拠点は、EV・次世代モビリティ研究開発施設に向け、令和4年10月にスズキ・県・市による基本協定を締結。
- ✓ シーガーデン(川尻海岸)推進拠点は、令和4年5月に、防潮堤天端の緑道の供用を開始。併せて整備した水防センターは、災害時に水防活動の拠点となる一方で、平時は富士山や駿河湾の眺望を活かした賑わいの場としての活用が期待される。



主な取組	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
旧金谷中学校跡地活用推進拠点整備	当初計画	事業用地PR	事業者募集	拠点整備				
	実施・見込み	事業用地PR	事業者募集	拠点整備				
MaaS等新たな移動手段の導入	当初計画	手法検討		実証実験	実装			
	実施・見込み	手法検討		実証実験	実装			

4 【賀茂地域】世界レベルの地域資源の中で、豊かに働き・暮らし・遊ぶ『伊豆'sライフスタイル』創造エリア

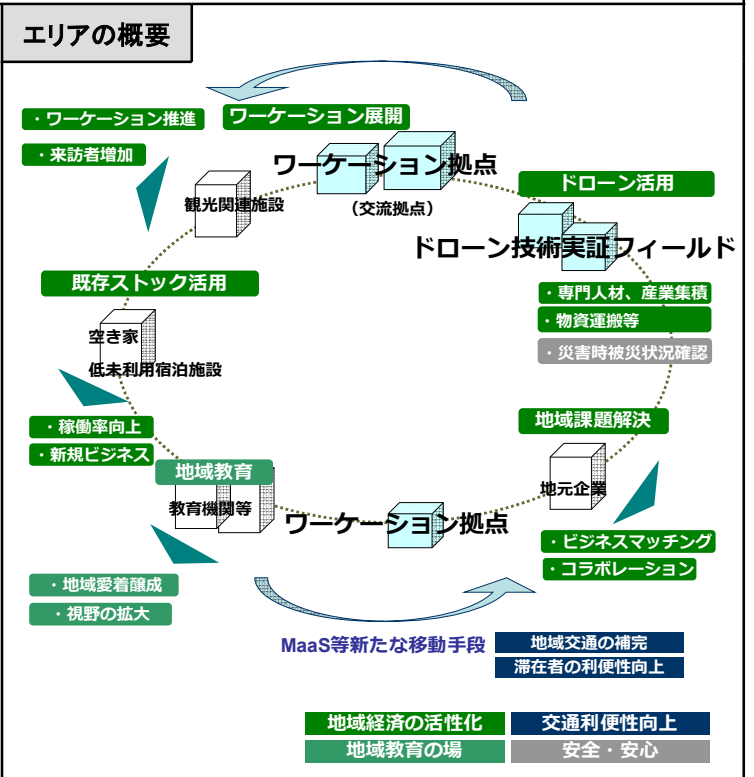
R2年度認定

(下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町)

目指す姿	自然、歴史、文化等、世界に誇れる魅力ある地域資源を最大限に活用し、地域特性に応じた賀茂地域ならではの働き方、暮らし方、遊び方を掛け合わせた、新しく、豊かで、多彩なライフスタイルを実現する先進モデルエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係人口の創出による地域経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークーション、テレワーク、サテライトオフィスの誘致や拠点整備等を推進 ○ 新たなワークーションスタイルの提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者と地元企業・人材等との交流機会を創出するとともに、コーディネート機能を充実させ、地域課題解決型ワークーションを推進 ・ 施設の相互利用、連携した情報発信、活動団体のネットワーク化等を実施 ○ 地域教育の場の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育における交流授業の実施等、外部人材と地域の若者の交流の場の創出 ○ 観光型MaaSとの連携による地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光型MaaSの実装に向けた実証実験を推進 ○ ドローン技術を活用した地域課題の解決 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光振興や災害、物資運搬等地域課題の解決モデルを実践

県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金
--------------	--

主な進捗	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各市町でワークーション拠点の整備を推進しており、令和4年春に下田市で2件、東伊豆町で1件がオープン。 ✓ モニターツアー開催、外部人材と地域事業者のマッチングを図る地域課題解決ワークショップの開催、自治体・企業マッチングイベントへの出展などにより、ワークーションでの誘客を推進。 ✓ ワークーション施設相互利用や団体ネットワーク化等について、組織構成、事業内容等を協議中。 ✓ 令和3年度の東伊豆町に続き、河津町がドローンを購入し、パイロットの育成を行いながら、地域課題解決に向けた活用を検討中。
-------------	---



主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ワークーション拠点整備	当初計画		■■■■■	■■■■■	■■■■■				
	実施・見込み		■■■■■	■■■■■	■■■■■				
ワークーション施設総合利用・活動団体ネットワーク化	当初計画				■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
	実施・見込み				■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

6 【湖西市】湖西市版MaaS（企業シャトルBaaS）によるデジタルシティ推進エリア

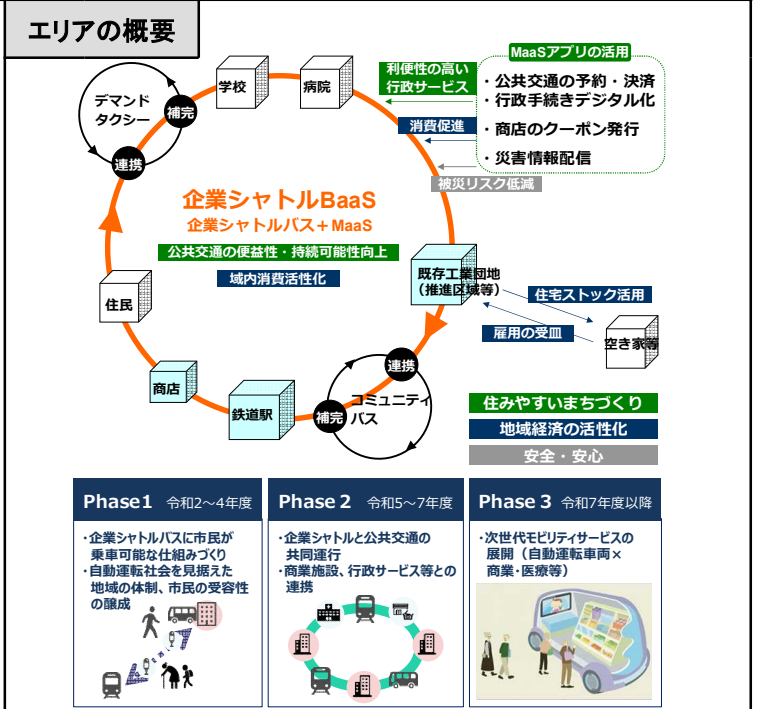
R2年度認定

目指す姿	湖西市版MaaSである企業シャトルBaaSや、各種手続きのデジタル化の推進による、誰もが住みやすく、かつ、市内で経済が循環する先進モデルエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業シャトルバスを活用した地域公共交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数企業のシャトルバスを共同運行し、かつ、一般乗車も可能とする「企業シャトルBaaS」の運行により、公共交通の利便性・持続可能性を向上 ○ MaaSアプリを活用した地域内消費の誘導、安全で利便性の高い行政サービス提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の飲食・小売事業者のクーポンをアプリ上で発行し、地域内消費を誘導 ・ 企業シャトルバスを活用した宅配支援により、市内商店での消費促進、企業従業員の買い物支援 ・ 行政手続きのデジタル化やアプリとの連携の推進により、非対面・非接触で、利便性の高い行政サービスを実現 ○ 職住近接の推進による地域内消費活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ MaaSアプリの活用や企業との連携による情報提供、住宅ストックの活用などにより移住・定住を促進 ・ 物販、マルシェ、カフェ機能等の導入により、賑わいの場として活用

既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜名湖西岸地区産業集積推進区域 ・ JR鷺津・新所原駅及び駅周辺商店 ・ 新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域
-------------	--

県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金
--------------	--

主な進捗	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 令和3年度に引き続き、協力企業4社と湖西市企業シャトルBaaSの運行実証実験を令和4年8月から令和5年1月の6ヶ月間実施。 ✓ 令和4年度は、隣接する豊橋市と連携して、豊橋市内にもバス停を設置し、県境を越えた取組に発展。 ✓ BaaSアプリ上でドラッグストアや食料品店、飲食店といった地域商店のクーポンを発行し、地域内消費の誘導を検証。 ✓ 乗車予約のデジタルデバйд解消のため、LINEによる予約のほか、自動音声電話受付サービスを導入。
-------------	--



主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
湖西市企業シャトルBaaS	当初計画	実証実験、調査・分析				本格運行			
	実施・見込み	実証実験、調査・分析				本格運行			
BaaSと連携した地域内消費誘導	当初計画		実証実験、調査・分析			本格導入			
	実施・見込み		実証実験、調査・分析			本格導入			

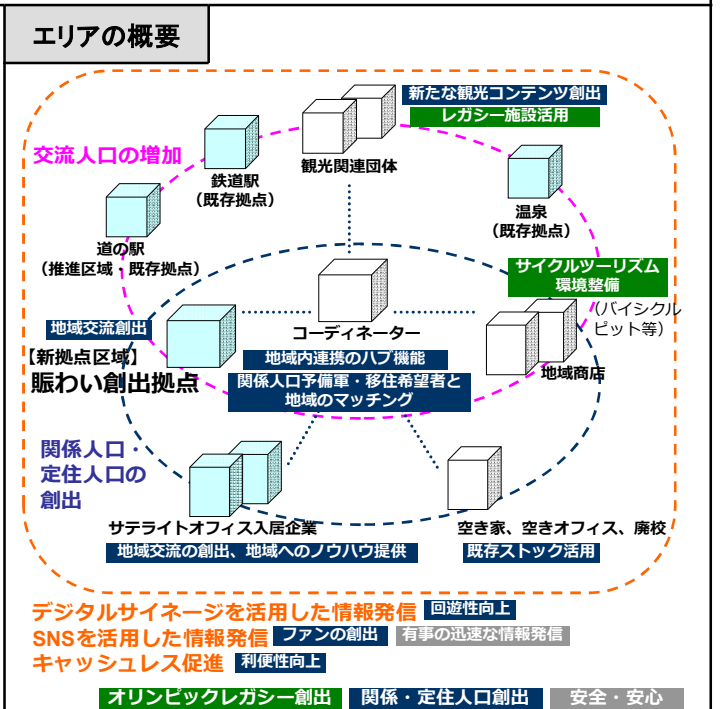
Phase 1 令和2~4年度	Phase 2 令和5~7年度	Phase 3 令和7年度以降
<ul style="list-style-type: none"> 企業シャトルバスに市民が乗車可能な仕組みづくり 自動運転社会を見据えた地域の体制、市民の受容性の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 企業シャトルと公共交通の共同運行 商業施設、行政サービス等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティサービスの展開 (自動運転車両×商業・医療等)

7 【伊豆市】東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした、交流・関係・定住人口創出推進エリア

R2年度認定

目指す姿	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、来訪者の皆様に新たな伊豆市との関わり方を提案し、新たな賑わいを生み出す交流・関係・定住人口創出エリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○東京2020オリンピック・パラリンピックをターニングポイントとした交流・関係・定住人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング等の新たな地域資源の活用や地域住民との交流など、滞在・体験・交流の要素を取り入れた観光コンテンツを創出し、拠点間相互の新たな人の流れや継続的な伊豆市との関わりを創出 ・レガシー施設を活用した新たな自転車・サイクリングファンの創出や、サイクリングルート上の店舗と連携した自転車での快適な旅を確保するための環境整備により、「サイクリングの聖地“伊豆市”」を確立 ・関係人口予備軍や移住希望者と地域のマッチング、連携のコーディネーターなど、伊豆市との新たな繋がりを創出する体制を構築
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆縦貫自動車道中間IC(仮称)周辺にぎわい創出拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・「天城北道路」と「道の駅」を活かした地域振興拠点づくり推進区域 ・天城北道路大平IC周辺“森と農”活力創造推進区域 ・修善寺・湯ヶ島温泉地区、修善寺駅、道の駅「天城越え」 ・伊豆市サテライトオフィス「狩野ベース」、旧土肥小学校
県支援事業	—

主な進捗	<ul style="list-style-type: none"> ✓伊豆縦貫自動車道中間IC(仮称)周辺にぎわい創出新拠点の整備に向けて、地域住民とのワークショップを実施し、地域の魅力を活用しながら住民と来訪者の交流を促進する拠点づくりの検討を進めている。 ✓サイクリングや地域資源の魅力を掛け合わせた新たな観光メニューの創出に向けて、市内宿泊者を対象とした20の観光コンテンツの開発・試行やモニターツアーを実施。 ✓SNSによる住民・来訪者による情報発信の拡大に鳥食う実、「#伊豆市いいね」の投稿が、令和4年10月末時点で1万件を超えた。
------	---



主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊豆縦貫自動車道中間IC(仮称)周辺にぎわい創出拠点の整備	当初計画		調査設計	■ ■ ■ ■ ■	整備	■ ■ ■ ■ ■			
	実施・見込み		調査設計	■ ■ ■ ■ ■					
地域資源を活用した観光コンテンツの創出	当初計画		試行	本格導入	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■
	実施・見込み		試行		本格導入				

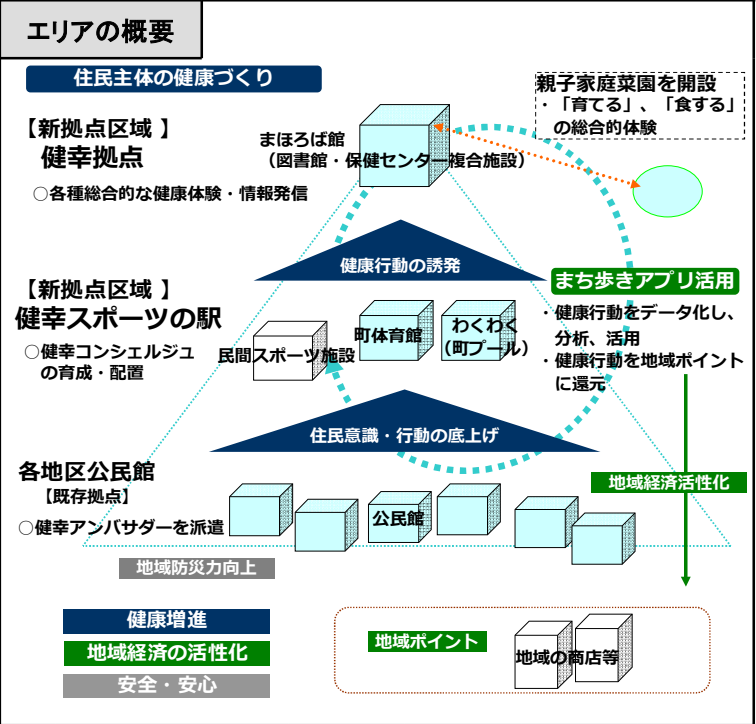
8 【清水町】笑顔があふれ誰もが健康に暮らせる『笑街健幸のまち』 推進エリア

R2年度認定

目指す姿	日々の暮らしを通じてあらゆる世代・ライフステージに応じた心身の健康づくりを実現する、「清水町型スマートライフ」推進エリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「健幸スポーツの駅」設置・「健幸拠点」の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設や民間スポーツ施設に、町民の健康状態に応じた運動プログラムを提案する「健幸コンシェルジュ」を育成・配置し、「健幸スポーツの駅」として活用 ・ 図書館と保健センターの複合施設「まほろば館」については、両機能の連携等により、町の中心的な「健幸拠点」として位置づけ ○住民主体の健康づくり体制の構築・地区公民館の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の主体的な健康づくりの担い手となる「健幸アンバサダー」を育成。健康無関心層に健康情報を提供するほか、各地区の公民館に派遣し、健幸スポーツの駅の紹介や情報を提供 ○まち歩きアプリの導入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくり事業と地域ポイント制度「ゆうすいポイント」との連携により、健康行動を地域経済へ還元
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健幸スポーツの駅・健幸拠点
既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区公民館、民間スポーツ施設等
県支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金

主な進捗

- ✓ 民間スポーツジム等と連携し、令和4年度に6か所の健幸スポーツの駅を設置し、養成した健幸コンシェルジュが運動プログラムの紹介や相談を実施。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催困難なイベントや健康教室があったため、健幸拠点「まほろば館」と健幸スポーツの駅等の連携が遅れている。
- ✓ 令和4年12月からまち歩きアプリを導入し、健康活動に応じて付与する健康ポイントを地域ポイント制度「ゆうすいポイント」と連携させ、地域経済活性化を図っている。



主な取組		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
健幸スポーツの駅 の設置による健康づくり推進	当初計画	健幸コンシェルジュ養成	健幸コンシェルジュ養成	健幸コンシェルジュ配置	健幸コンシェルジュ配置	健幸スポーツの駅設置	●	●	●
	実施・見込み	健幸コンシェルジュ養成	健幸コンシェルジュ養成	健幸コンシェルジュ配置	健幸コンシェルジュ配置	健幸スポーツの駅設置	●	●	●
まち歩きアプリの導入・ 「ゆうすいポイント」との 連携	当初計画			●	●	●	●	●	●
	実施・見込み			●	●	●	●	●	●

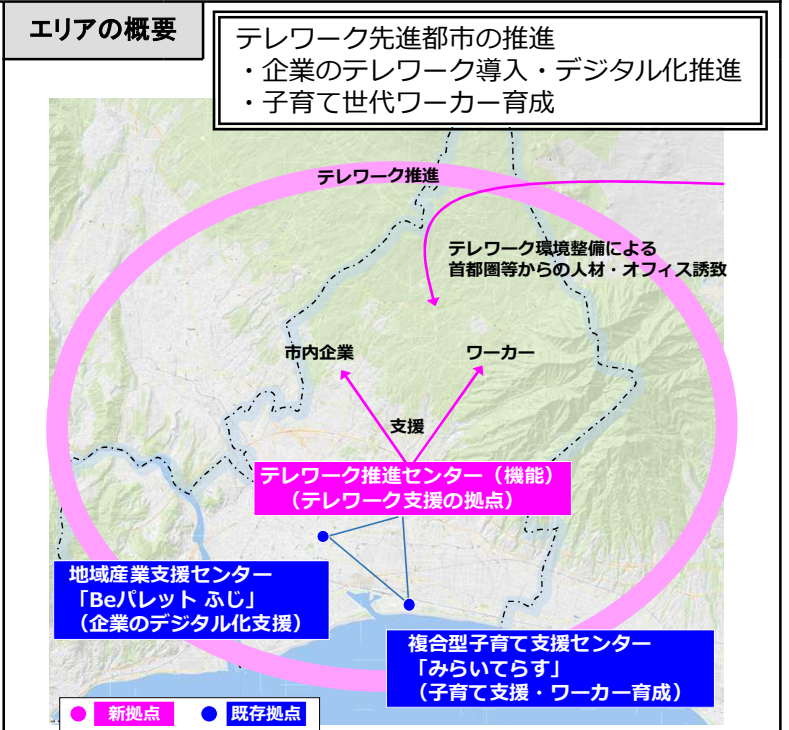
9 【富士市】企業の競争力と暮らしの質を高め、新たな価値を創造する テレワーク先進都市エリア

R3年度認定

<p>目指す姿</p>	<p>市内企業のテレワーク導入とデジタル化を支援し、ものづくり産業をはじめとする多様な業種において生産性の向上を図るとともに、子育てしやすく、災害や感染症などに強い就業環境と柔軟でしなやかな働き方を実現するエリア</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市内企業のテレワーク導入推進・デジタル化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）テレワーク推進センターを機能として設置し、コンシェルジュが市内企業の個々のニーズに対応したテレワーク導入支援を実施 ・製造現場のIoT、AI導入等のデジタル化を支援し、生産性の向上や人材不足の解消を推進 ○首都圏企業の誘致・ワーカーの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの利用促進やサテライトオフィスの誘致等により、市内にデジタル人材を呼び込み、人材交流やビジネスマッチング等を推進 ・子育て世代のワーカー育成、多様な働き方の実践 ・複合型子育て拠点「みらいてらす」の「子連れコワーキングスペース」を活用した多様な働き方の支援や、ビジネススキルの習得等による人材の育成 ・ICTを活用した情報発信強化等により、子育て世代の柔軟な働き方の実現に向けた環境づくりを推進
<p>既存拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業支援センター「Beパレット ふじ」・複合型子育て支援センター「みらいてらす」

<p>県支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業費補助金
--------------	---

<p>主な進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓（仮称）テレワーク推進センターの具体策について、関係者による検討を進めている。 ✓「みらいてらす」が令和4年度から本格稼働。親子向けイベントや子育て団体・企業等交流イベントを開催しながら利用者の増加を図っており、子育て世代の多様な働き方の実践の場となっている。 ✓新富士駅内の複合商業施設内にテレワーク施設の整備を進めているほか、在宅テレワークリフォームへの支援を行うなど、テレワーク環境の充実やテレワーカーの拡大を図っている。
-------------	---

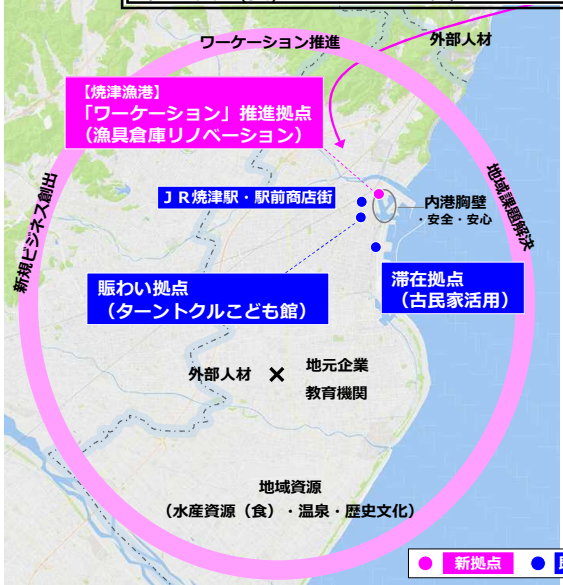


主な取組		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
（仮称）テレワーク推進センター（機能）によるテレワーク導入支援	当初計画			■	■	■	■	■
	実施・見込み			■	■	■	■	■
テレワーク環境整備（コワーキング設置、リフォーム支援）	当初計画		■	■	■	■	■	■
	実施・見込み		■	■	■	■	■	■

10 【焼津市】「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「新たな働き方・楽しみ

R3年度認定

方」の掛け合わせにより、多彩な人々が寄り集う「港まちやいづ」創造エリア

<p>目指す姿</p>	<p>全国トップの水揚げを誇り、我が国を代表する漁港である焼津港を中心として栄えてきた「港まち」ならではの、水産文化都市が保有する「水産資源（食）」や「温泉」、「歴史文化」の地域資源とコロナ禍を踏まえた「新たな働き方・楽しみ方」等を掛け合わせるにより誘客を図り、交流・関係・定住人口を創出するエリア</p>	
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源の有効活用・磨き上げ <ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家・漁具倉庫等をワーケーションやアクティビティ等の拠点として整備するとともに、食文化を楽しむガストロノミー・ツーリズムの概念も取り入れながら、「水産資源（食）」・「温泉」・「歴史文化」と「ワーク」の掛け合わせによる新たな働き手・ツーリストの受け皿づくりを推進 ○ やいづ版ワーケーション（ワーク＋コラボレーション・イノベーション）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部人材と地域・地元企業・地元教育機関・関係団体等との交流促進による、新規ビジネスの創出や、地域の水産ブランド力の強化 ○ 空き店舗や空き家等を活用した新たな拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ サテライトオフィスやワークスペースを確保し、クリエイティブ人材と地域や地元企業が連携した地域課題解決ビジネスを創出 	
<p>新拠点区域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やいづ版ワーケーション」推進拠点 	
<p>既存拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜通り服部家（「庭の宿 帆や～hoya～ 焼津」） ・ JR焼津駅 ・ ターンクルこども館 ・ 焼津駅前商店街 	
<p>県支援事業</p>	<p>—</p>	
<p>主な進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 漁具倉庫をリノベーションした「焼津PORTERS」について、1棟の整備が完了し、令和4年3月からコワーキングスペース等がオープン。残る1棟は、令和4年10月に工事着手し、令和5年4月完成予定。ワーケーション施設・宿泊施設・飲食施設などが入り、令和5年度から本格稼働予定。 ✓ 複業人材と地元企業をつなげるマッチング合宿を開催したほか、グリーンスローモビリティ等を活用しながらビジネス交流を促進する焼津版MaaSの実証実験が行われるなど、外部人材と地域の接点創出に向けた取組が展開。 	<div data-bbox="654 1073 811 1104" data-label="Section-Header"> <p>エリアの概要</p> </div> <div data-bbox="839 1073 1375 1187" data-label="Text"> <p>やいづ版ワーケーションの推進 (外部人材と地元企業・教育機関のコラボレーション) 地域資源の活用・磨き上げ (水産資源(食)、温泉、歴史文化)</p> </div> 

主な取組		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
「やいづ版ワーケーション」推進拠点(焼津PORTERS)の整備・運営	当初計画		一部オープン	グランドオープン				
	実施・見込み		一部オープン	グランドオープン				
デジタルマーケティングを活用した人材誘引	当初計画							
	実施・見込み							

12 【富士山南東】首都圏の子育て世帯から選ばれる「転職なき移住」 推進エリア（三島市・裾野市・長泉町）

R4年度認定

目指す姿	子育てに適した豊かな自然環境や首都圏への良好な交通アクセスを活かしながら、三島駅をハブとした車を持たずとも暮らしやすい移動環境を提供することで、「子育て世帯」「首都圏通勤者」「テレワーカー」の移住希望者から選ばれるエリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯のニーズに合った魅力ある拠点の整備・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク拠点の整備を促進し、「転職なき移住」実現の場を創出するほか、交流施設や公園の活用・PRにより、移住者が孤立せず安心して子育てできる環境を創出 ・空き家活用などに重点的に取り組む移住モデル地区を形成し、移住者を呼び込む受皿を整備するとともに、住宅地・工業団地の整備を着実に進め、ゆとりある住まいや、配偶者・家族の就業先を提供 ○新幹線三島駅をハブとしたエリア内移動の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転技術の導入、シェアサイクル・電動キックボード・超小型モビリティ等のパーソナルモビリティ拠点拡充等により、誰もが移動しやすい交通ネットワークを整備 ・あらゆる移動手段と、地域イベントや立寄り先などのサービスをシームレスにつなげるマルチモーダルデータ連携基盤の構築により、移動・生活の利便性を向上 ○住みやすい街、産み育てやすい街としてのブランド確立 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏子育て世帯向けに、ブランディング・プロモーションを2市1町で一体的に実施し、若者の移住を促進

既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・三ツ谷地区新たな産業拠点整備区域 ・三島塚原 IC 周辺ゆとりある田園居住区整備促進区域 ・三島駅、下土狩駅、長泉なめり駅、裾野駅、岩波駅 等 ・長泉沼津 IC 周辺物流関連産業等集積区域 ・裾野市北部地域職住近接の防災スマートシティ創出推進区域
------	--

<p>実施事業</p> <p>【若者、子育て世帯をターゲットとしたUターン・移住促進事業】 エリア内出身の若者のUターン促進、首都圏からの子育て世帯の移住促進・プロモーションを共同実施</p> <p>【テレワーク拠点整備事業】 テレワーク拠点整備や進出企業への支援を行い、民間資本による拠点整備を促進</p> <p>【新幹線三島駅から各拠点へのアクセス、エリア内移動の利便性向上事業】 交通事業者、民間事業者、大学と連携し、ICTを活用しながら、エリア内移動の利便性を向上</p>	<p>エリアの概要</p> <p>広域連携による「子育て世帯」「首都圏通勤者」「テレワーカー」の移住促進</p>
---	---

主な取組	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
若者、子育て世帯をターゲットとしたUターン・移住促進事業		事業実施 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■				
テレワーク拠点整備事業		実証事業・事業化検討 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	実装 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			
新幹線三島駅から各拠点へのアクセスと移動利便性向上事業	実証事業 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	事業化検討 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	実装 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			

13 【菊川市】「多文化都市」菊川型の関係人口創出・定住人口 拡大エリア

R4年度認定

目指す姿	若者・外国人・自然・農業などの多彩な文化を有する人・資源が調和しながら、地域に親しみ、地域を育てる人が寄り集う、菊川型の関係人口創出・定住人口拡大エリア
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若者や外国人を巻き込んだコミュニティ・関係人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 若者や外国人、地域事業者などの地域内交流を促進するとともに、豊かな生態系や美しい景観を形成する茶園や棚田などの伝統的な地域資源等を保全・活用して、市内外の多彩な人々が交わる地域活動を推進 ・ JR菊川駅周辺の交通・都市基盤を一体的に整備して新たな人の流れを創出するとともに、地域活動やコミュニティビジネスのフィールドとして活用し、地域交流を創出 ○ 地域を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関と連携した学生の地域活動の機会創出、多文化共生推進などの担い手の育成・連携促進、コミュニティビジネス実践の支援により多様な人材を育成するとともに、若者の還流、外国人住民の地域交流、外部人材の関係人口化を促進 ○ 関係人口から定住人口への受け皿整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな工業用地を整備し、就労の場・雇用を創出 ・ JR菊川駅周辺整備での一体的な住宅地整備により、利便性の高い住環境を創出

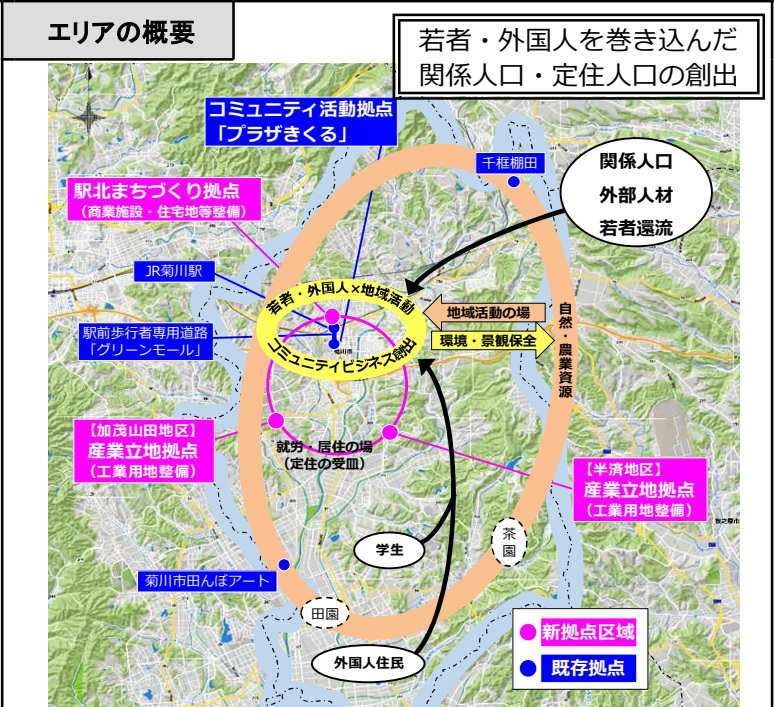
新拠点区域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加茂山田地区産業立地拠点 ・ 半済地区産業立地拠点 ・ 駅北まちづくり拠点
-------	---

既存拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR東海道本線菊川駅 ・ 市役所東館「プラザきくる」 ・ グリーンモール ・ 千榎棚田、菊川市田んぼアート
------	--

【庁舎東館を核とした賑わいの好循環創出事業】
市民の力による賑わい創出に向けて、若年層を中心とした関係人口を増やす取組等を実施

【菊川駅周辺地区整備事業】
南北自由通路や駅前広場の整備により、利便性・安全性の向上を図るとともに、駅周辺の滞留・賑わいを創出

【多文化共生コミュニケーション支援事業】
ICTを活用した多言語での情報発信により、外国人住民の地域社会との交流や、災害時の地域内共助を促進



主な取組	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
工業用地の整備		加茂山田地区 造成・建設			半済地区 造成・建設	
駅北まちづくり拠点整備事業			許認可手続き		整備実施	
庁舎東館を核とした賑わいの好循環創出事業	研究会開催・イベント実施					